

つながりを大切にし、
かかわりを深める児童生徒の育成



ユネスコスクール便り

令和5年7月10日

大牟田市1ねこスクール

担当者通信

No.128

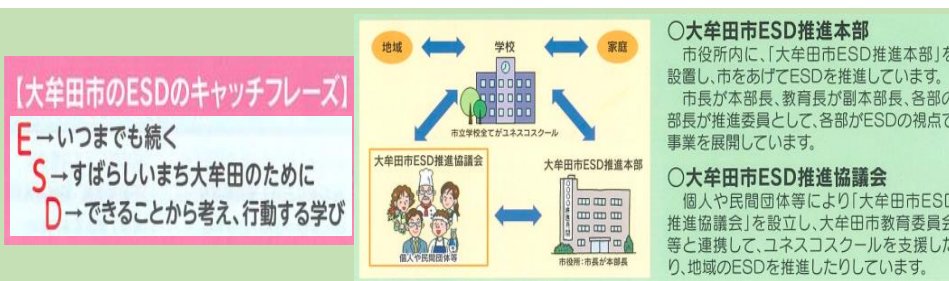
教えて！ 大牟田のESD



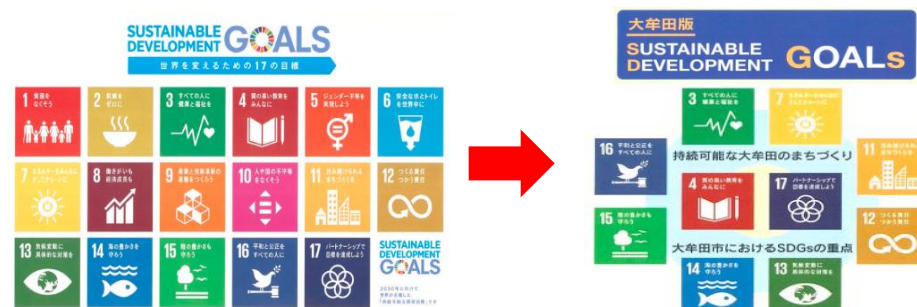
本年度、大牟田市に採用された先生方と一緒に、ESDについて確認していきましょう。

Q：大牟田市のESDの特色や、SDGsとの関わりを教えてください

大牟田市の全公立学校は、2012年（平成24年）1月に一斉にユネスコスクールに加盟し、学校や地域の実態に合わせて、持続可能な開発のための教育（ESD）を行っています。大牟田市では、100年後の未来を見据え持続可能なまちづくりの担い手としての子ども達を育てるために、学校と家庭と地域などが連携協力し、市をあげてESDを進めています。



2015年、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、国際連合サミットで17の持続可能な開発目標及び169のターゲットが採択されました。これが「SDGs」です。持続可能な社会の創り手を育成するESDは、SDGsを達成するために不可欠である質の高い教育の実現に貢献するものとされています。大牟田市では、このSDGsから10の目標を選び、大牟田市版SDGsを設定し、重点的に各学校のESDを推進しています。



特色ある実践事例の紹介



生き物を調べよう！「鳴川環境調査隊」 玉川小学校

玉川小の近くの鳴川には、三池山の伏流水が注ぎこみ、栄養豊富で美しい水が流れています。昨年度、この鳴川を調査した5年生から話を聞いたり、ゲストティーチャーの柿川先生から生き物のことを学んだりした4年生は、早く調査に行きたいとうずうずしていたようです。「あっ！魚がいた。」「これが珍しいヌマドジョウなんだ。」と、生き物を発見するたびに大喜びしていた子どもたち。近頃の大雨で生き物が減ったと聞いていましたが、たくさんの生き物を見つけることができ、みんなで胸をなで下ろしていました。これからも、環境を守り、次の世代になっても住み続けられる玉川の郷にしようという気持ちを大切にしたいと願っています。



鳴川で生き物を探す子ども達



「働く」って何だろう？ 白光中学校

白光中学校では「働くこと」をテーマに、6月13日（火）に市内の様々な分野で活躍されている方を学校にお招きし、1日総合Dayを実施しました。2年生では、職業学習として、フィットネスインストラクターやコンビニエンスストア店長、消防士やパティシエなど、具体的な職業の内容から「働くこと」の意味まで、幅広いお話をいただきました。生徒たちも実際に働く方の生の声に、生き生きとした表情で耳を傾けていました。講師の方々も、生徒たちとのやりとりを楽しまれている様子でした。

これからを担う子どもたちが、自らの職に誇りと働きがいをもって生きていくことができるよう、今後も取り組んでいきます。



講師の方の話を真剣に聞く生徒たち